

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) Y.N
所属 (Schhol) 工学域 電気電子系学類 電子
物理工学課程
学年 (Grade) 2年

留学先 (Name of overseas institution)
カリフォルニア大学アーバイン校(UCI)

留学期間 (study abroad period)
2018/9/4~2018/9/25

記入日 (Date) 2018/9/30

留学レポート Study Abroad Report

まさか、って思いました(笑)。ホストファミリーの情報が事前に渡されるのですが、そこにホストマザーの職業がピアノ講師って書いてあったんです。ピアノ弾けるってホームステイ用の自己紹介に書いててよかったと思いつつ出発日(9月4日)を迎えました。

しかしまさかの関空沈没(まあこれはこれで楽しかったのですが)。空港内で一夜を過ごし、6日から成田発の飛行機で再出発となりました。

そんなこんなでホストマザーと初めて会う時がやってきます。今でも鮮明に覚えています。あのワクワク感。「あ、あの人だ！優しそうな人で良かった…！」

…とまあ時系列に書いてきましたがこんな調子だといつ書き終わるのかわからないのでいくつか話題を絞ってお話します。**大事なことは下線と太文字で強調しておきます。**

また、以下でお話している内容は「楽しかった思い出」ではなく「驚いたこと」とか「他の留学レポートでは書いていなさそうなこと」が中心になっているので、ネガティブな印象を受ける場面もあるかもしれません。が、まったくそんなことはないです！**アメリカ留学は楽しいです！**それを踏まえて読んでください。

1. 普段の生活

普段と書きましたがこの普段の生活を体得するのに1週間はかかりました(笑)。

まず驚いたのがホストファミリーの寝る時間ですね。夜10時には夫婦ともに部屋に戻っていきます。“Good night (僕の名前), sleep well!”なんて言いながら。ただ実際に就寝する時間は分かりません。きつとお仕事をしたり聖書を読んだりしていたのでしょう。

朝は僕の起きるタイミングが悪いのか1度も顔を合わせず出発することが多かったです。でも学校から帰ってくると必ずホストマザーがいました。そして大抵、レッスン中です(笑)

夕ご飯の準備はほぼ毎日手伝いました。食器をテーブルに並べ、サラダに入れるニンジンを切ったりするだけですが、とても喜ばれました。「私の息子は全然手伝ってくれなかったわ!」、とホストマザー。実家では全然手伝ってないですとは言えない僕。

夕飯を食べ終わると片付けをし、ホストマザーと喋ったりピアノを弾いたり課題をしたり…そうこうしているうちに例の10時になってぼっちタイム開始です。シャワーを浴びたり日本にいる友達とLINEしたりして、就寝。そんな感じでした。

2. 大学のはなし

まあ行ってみてください(笑)。とんでもなく広いです。1回迷子になって、とある待ち合わせに30分遅刻しました(20分前には構内をさまよいはじめたんですけどね…遅刻は禁物ですよ!)。仲間とともに構内探検へ繰り出したりしましたが、とてもまわりきれなものではありません。スタバは3つもあるし、スーパーも、飲食店(20軒くらい?)もありました。

授業は20名くらいの少人数。1コマ目の先生は普通の先生でしたが(いや面白かったですよ)、2コマ目の先生は結構リアクションが激しい人でした。「最近どう?…あれっ…私に言える話題が一つも…ない…!? (o_v_o)」。こんな感じでした。

ちなみに大学のマスコットキャラクターは anteater の Peter 君



です。(1 ページ目右下の写真。) なんでアリクイがマスコットに選ばれたのかは忘れましたが、結構お気に入りです。UCI は結構 anteater を推してきます。大学構内のいたるところにアリクイの銅像があり、The HILL という購買ショップ (府大でいう生協みたいな) には様々な種類のアリクイグッズ (T シャツ、ぬいぐるみ、筆記用具…) が大量に売ってますし、拳句、学内を走るバス路線の名は“ANTEATER EXPRESS”、アリクイ尽くしです。これだけ推しておいて、ついぞアリクイを見かけることは一回もないまま留学が終わってしまいました。ま、マスコットですし、実際にいるかどうかなんて関係ないんですけどね。

3. お出かけ① LA ツアー



アメリカの人はロサンゼルスをロスとはいいません。LA です。LA ツアーは UCI のアクティビティで行きました。(左の写真は LA ダウンタウン)。UCI から高速道路をぶっ飛ばして 1 時間ほど。治安が悪いので**ちょっと出歩くと「お金はないか？」って話しかけられます。「ないです」って言うとお金はずぐ引き下がるので適度に注意しましょう。**(アメリカの大都市は大体そんな感じでホストマザーが言ってましたが果たして…)。また、LA に限ったことではないですが、セブンイレブンがたくさんあります。LA のダウンタウンにあるセブンに入ってみると、Apple という名の青いドーナツが売ってました。なんで青いんでしょうねえ…
LA では他にも、タコス食べたり観光したりしましたがネットで検索すれば出てくるようなものばかりだと思うので割愛。

続いてハリウッドに行きました。この LA ツアーにはハリウッドツアーも含まれています。ハリウッドと言えば山に突き刺さったあの“HOLLYWOOD”という看板や、歩道に描かれている名役者の名前と星を思い浮かべる人が多いと思いますが、実はその通りです。もちろん映画好きの方は楽しめると思いますが、少なくとも面白い物には不向きです。“I ♥ HOLLYWOOD”と書かれた T シャツとか偽のオスカー像とかしかありません。

あと、これはとても重要なことですが、**CD を配ってる人や、スパイダーマンとかの格好をした人が写真撮ろうよと言って近づいてきたら要注意です。結局そついう人たちは必ず、お金をせとってきます。無料とか言うてきても嘘なので。ちなみに相場は 20 ドル前後。だまされないように。ただし、写真撮ろうよと言うてくる仮装した人はとても面白いですし、絡むと楽しいと思います。でも 20 ドルです。よかったです思い出にどうぞ。**

4. ファストフード



アメリカと言えばハンバーガーというイメージがありますが全くその通りで、日本のバーガー店よりも肉がちゃんとしてます。ほんとです。(左の写真は Habit というところのバーガー。とてもおいしい。)

レジの上にメニューが掲げてありますが、セットの文字は見当たらないことがほとんどです。たまにセットみたいな感じで、たとえば Habit というバーガーチェーン店では「THE ORIGINAL COMBOS #1 CHARBURGER with fries & drink ○○\$」とか書いていたりするのですが、じつはバーガーとポテト、ドリンクをそれぞれ単品で注文しても価格は変わりません。じゃあなんで書いてるんだ。

実はバーガー以外にも、アメリカにはおいしいファストフードがあります。たとえば、タコスとか burrito

とか… (burrito おいしいですよ!)

さて、多くのファストフード店では飲み物は自分で入れに行くスタイルをとっていますが、**ドリンクのリフィル (おかわり) は自由です!** 注文するときにはドリンクのサイズを聞かれますし、当然 L サイズより S サイズの方が安い価格になってます。じゃあ、S サイズ頼んでお替りしまくったほうが L サイズよりお得だし、一体何のために L サイズがあるんだ? と思いますよね。

お店の人にその理由は聞かなかったのですが、おそらく理由は二つあります。1 つは、たくさん飲む人はお替りしに行くのが面倒なので、初めからお金を多めに払ってでも大きいカップにドリンクを入れたいから。もう一つは、**アメリカでは店内での食事のあとそのまま店外にドリンクを持ち出すのが一般的なスタイル**で、L サイズを頼めばテイクアウトできるドリンクの量が多くなるから。もしかしたら他にもわけはあるかもしれませんが…

5. お出かけ② サンディエゴ

アーバインにはアーバイン駅という鉄道駅があります。ここから Amtrak (アメリカの鉄道と言えはこの鉄

道って感じの鉄道会社)の列車に揺られること約2時間でサンディエゴのサンタフェ駅に着きます。僕は Pacific surfliner という列車に乗ったのですが、この列車は海岸線を通るのでめっちゃ眺めがよくておすすめ。ちなみに、この列車のチケットをアーバイン駅の窓口で購入するときは顔写真入りのID(パスポートなど)が必要です！また、学割があるのでUCIで最初に買った学生証みたいな紙切れを必ず持っていきましょう。

さて、サンディエゴには代表的な観光施設がいくつかありますがここで紹介するのはUSS Midway Museumです。

(右の写真)。昔実際に使われていた空母(aircraft carrier)をそのまま博物館にしてしまった施設です。入館料は、18歳以上は21\$ですが、大学生は15\$になります。ここでも学生証は必要です…顔写真入りのIDもお忘れなく。

博物館なのでたくさん英語が書いてあって勉強になります…えっ？それは困る？でもご安心を。なんと無料で日本語の音声案内が付きます。船に入るとまず写真をとられ(記念



撮影じゃないです。たぶん防犯か何かのため)、そのあと機械を渡されます。それが音声案内のやつです。館内の至る所にスピーカーのアイコンが書いてあってそこにピッとすれば音声が流れます。実際に昔海軍の将校だったような人が案内してくれるツアーとかフライトシミュレータ(箱に入って逆さになったりするような)とかあって結構面白いです。おすすめですよ。

サンディエゴでもう一つおすすめなのは、Old Townです。(左の写真)。カリフォルニアはその昔メキシコに統治されていたという歴史がありますが、ここOld Townでは(少々誇張された?)昔のメキシコを体感することができます。(…言い忘れましたが、サンディエゴはアーバインより南、つまりメキシコ寄りです。)

Old Townにはサンディエゴのサンタフェ駅からトラム(路面列車みたいな電車)で十数分で行けます。僕はOld Townでメキシコのキャンディーをお土産に買いました。独特な味がします。他にも珈琲ショップとかアクセサリーショップとかがあります。お土産を買うのにいい場所だと思うのでぜひ。



6. その他いろいろ…

この章がじつは一番重要かもしれません(笑)

まず、いつも通学に使うバスについて。アメリカは何かと時間にルーズなイメージがあるかもしれませんが、僕の感覚では意外と時間通りといった感じでした(まあ2,3分遅れるくらいなら日本でもあるし…)。ただ驚いたのは、しばしば**2,3分定刻より早くバスが発車すること**です！アメリカなら大体遅れてくるだろうしぎりぎりバス停に着いたらいいやと思っている人がいたら気を引き締めて**5分前にはバス停に着くように**にしましょう。ほかにバスについてびっくりしたことと言えば、バスを停める方法です。日本ではボタンを押しますがアメリカではひもを引っ張ります。ほんとです。引っ張ると“STOP REQUESTED”の文字が電光掲示板に光ります。でもあまり長い時間表示しないので、見逃すとちゃんと停車を受け付けてくれたかわからず不安になります。

次に、身分証明について。これまでも2か所ほど顔写真付きIDとか学生証の話をしました。が、じつはこれについてはもう少し詳しく話さなければなりません。

UCIに着くと、まず最初のミーティングで府大の学生証と同じくらいの大きさの紙(プラスチック製ではない…ただの紙切れ)が渡されます。そこには大学名と自分の名前が書いてありますが写真はありません。ミーティングでUCIの先生は「もし正式な顔写真付きの学生証を発行したいなら10ドルで作れます」とアナウンスしてくれます。最初に聞いたときは別に必要ないやと思ってましたし先生も、まあ記念程度にどうですかというノリで説明していたので作りませんでした。

しかし、僕の友達の話によると、その紙切れでは、例えばハリウッドで天文台に入館するときに学生証として認識してもらえず結局学割が適用されなかったらしいです。(ぼくは適用されたんですけどね…受付によって違うのかも…)。ですから、**10ドル払ってでも顔写真付きの学生証は発行するべきかな**と思います。もしくは、**府大で国際学生証というものを発行できると聞いたことがあるのでこちらでも構わない**と思います。

ちなみに僕は結局最後まで例の正式な学生証は発行しませんでした。では受付などでどうしたのかというと、例の紙切れ学生証とパスポートを同時に見せました。別にこれでいい、という人もいますが、パスポートを常に持ち歩くのはセキュリティ上あまりお勧めできません。

